

留萌ロータリークラブ

会報

2006▶2007
WEEKLY REPORT

会長/中川 勝美 幹事/対馬 健一



率先しよう

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ

留萌ロータリークラブ会長テーマ
魅力ある明るく楽しいクラブは、
ロータリーを知り、
会員家族との親睦から

No. 2256 第17回 11月1日

プログラム

- 本日
留萌RCホームページ紹介
- 次週予定
来賓卓話
「中心市街地の空き店舗対策」
あずましや店主 森 義和様

- 会員誕生日
11月3日 川上 明弘
ご夫人誕生日
11月1日 立山 洋子
11月1日 明澤 裕子
11月5日 福嶋 久子
11月6日 深瀬 幸子

- 結婚記念日
11月4日 阿部 慶一
11月7日 関野 政人

出席委員会報告

前例会
会員総数.....51名
出免会員.....8名
欠席会員.....10名
出席率.....76.74%

前々回
第14回 10月11日
欠席会員.....11名
メイクアップ.....2名
修正出席率.....79.07%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

会長報告

- 地区大会にて永年出席100%表彰された方に記念品が届いております。35年表彰：平井誠治会員、25年表彰：川上明弘会員、清水陞会員、20年表彰：鈴木康伸会員、15年表彰：笠原正昭会員、10年表彰：明澤正樹会員、渡邊裕久会員です。
- 先週の新そば夜間例会では大変おいしくいただきました。又、そば打ち体験有難うございました。親睦委員会の皆さんご苦勞様でした。
- 本日の例会で10月の行事を無事終えることが出来ました。理事・委員長さんの協力に感謝致します。

幹事報告

- 1) 11月の例会プログラムは明日の理事会にて承認されたのち、すぐに皆様にFAXいたします。

3分間情報

情報委員会 行徳委員
「11月はロータリー財団月間です」
ロータリー財団の目標は、博愛・慈善・教育または人道的という特質をもつ明確かつ効果的なプログラムの促進を通じて、さまざまな国の国民のあいだに理解と友好的関係を助長することである。
毎年11月がロータリー財団月間と指定されている。財団の使命は「地域レベル、全国レベル、

国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。」

R Iの6人目のアーチ・クランフ会長が1917年のアトランタ国際大会で「世のために役立つことをしよう」と提案、数ヵ月後に米国ミズーリ州カンサスシティーRCから最初の寄付金、米貨26ドル50セントが寄せられた。1928年のミネアポリス国際大会で、正式に「ロータリー財団」と名付けられた。

活動の資金は、1991 - 92年度から従来の褒賞枠方式が変わり、地区の一般寄付額の60%が地区財団活動資金(DDF)となり40%が国際財団活動資金(WF)に充てられるシェア・システムが採用された。この資金は寄付をした年度の3年後に支出される。米国では人道的組織と認められ非課税が適用されている。日本では1997年7月から30万円以上で教育的プログラムに限り、税制上の優遇措置が受けられるようになりました。

現在、世界のロータリアンの1/10を占める日本のロータリアンが、ロータリー財団の1/4を支えていると言われております。

ニコニコBOX

- 10月例会及びプログラム無事終了しました
皆様のご協力に感謝致します 18日のソバ例会にて美味しくいただきました ソバ打ち体験させていただきました 中川会長
- ソバ打ち例会大変楽しくいただきました
裁判所職員一同
- 35年出席表彰受けました 平井会員
- 25年出席表彰受けました 川上会員
- 10年出席表彰受けました 明澤会員
- 中川会長からロータリー農園の野菜を頂きました 河部会員より写真を頂きました 森(幹)、澤田会員
- 河部会員より写真頂きました 関野会員

	・ソバ打ちを初めて体験させていただきました
	齋藤会員
前 回	479,000円
今 回	12,500円
合 計	492,000円

プログラム

「地区大会報告」

中川会長

地区大会の報告ですが、私は会長部門とR I会長代理ご夫妻歓迎晩餐会と15日の地区指導者セミナー及び地区財団フォーラムについて簡単に報告させていただきます。

大会当日、朝6時頃ガバナー補佐、私、幹事の3人で留萌を出発、対馬幹事の車にて札幌市民会館へと向いました。札幌市民会館には午前8時頃到着いたしました。市民会館の駐車場に入ろうとすると係りの方が来て「地区役員の方ですか」と聞かれ、対馬幹事さんが「そうです」と応えて市民会館の一番前のところに誘導していただきラッキーでした。

9時より会場は2階にて行われましたが、会場が狭くバスターガバナー・ガバナー補佐の席にも名札が無く、また案内もなくてどこに座って良いのかも判らず困ってしまいました。澤田ガバナー補佐もだんだん押され、結局席が無くなり、私たちの隣に座りました。会長幹事会では毎年同じ流れで、まずR I会長代理(亀岡弘様)の話があり、ロータリーの現状として会員数の報告では世界的に会員が減少しているが、最近では減少が落ち着いてきたという事です。また財団・米山寄付の現状、及び使用に付いての説明があり、会員増強・退会防止などの話しではロータリー家族での参加をして頂き、新会員の入会につながるのではないかとされておりました。ただ入会より退会防止に時間をついやす方が得策とも言われておりました。以上が会長幹事会です。

大会終了後、ホテルライフオーでR I会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が開催されましたが、これにも3名で出席してきました。ただ、第1グ

ループでは我々3名だけしか出席しておりませんでした。今回はフランス料理のフルコースと言われておりましたので、市民会館の大会の弁当もあまり食べず（あまり美味しそうには見えなかったので）夜のフランス料理に期待をしていたのですが、期待が外れてしまいました。フランス料理ですのでナイフとスプーン、フォークが付くと思っておりましたが、隣の澤田ガバナー補佐に「箸しかありませんが」と聞くと「フランス料理にも箸で食べれる物があるのでしょう」と言われましたが、残念ながらただの宴会料理でした。また会場も狭く、気が付くと入口の廊下に席がセットされており、聞いてみると登録漏れがあり慌てて準備したようです。

15日に同じホテルで地区指導者セミナーと地区財団セミナーが開催され出席しましたが、欠席者が多く、3分の1の出席で空席が目立ちました。財団フォーラムは前にも来られた日本事務局財団室長の片岡暎子さんと、基調講演と奨学生・G S Eの体験発表があり、財団寄付100ドルのお願いで終わりました。

最後に今回の地区大会の内容は今一で、登録料は高いという印象が残りました。登録料に見合った内容では無かったように思われます。

森 幹 会員

地区大会当日は朝7時に田中、西谷(恭)、齋藤各会員と私の4名で始発の沿岸バス留萌営業所を出発、その後、佐藤(潔)会員宅、続いてセブン・イレブン開運町店へ寄り、弁当・飲み物と一緒に佐藤(寛)、平間、渡邊各会員を積み、途中永福寺前で川上会員を、食産前にて関野、山本会員を拾って予定通り、7時19分札幌に向って総勢11名にて出発しました。会場の札幌市民会館には9時30分に到着、本会議の点鐘時には留萌クラブからの参加者21名は全員着席しておりました。

今回、地区大会の会場を札幌市民会館にしたのは、札幌市民に親しまれ歴史あるこの会館が来年取り壊されると聞き、使用できる最後の年に、是非ともこの度の地区大会をこの会館で開催したかった。との開催までの経緯が挨拶の中

でありました。今回の記念講演は北海道大学工学博士の堂本武夫氏で、テーマは「夢をもたらず氷の世界」でありました。

講師が氷の世界の話始めた途端に、私は一人夢の世界へ入っていきました。記念講演の感想は他の方がお話しただけの事を期待して、私の報告を終えたいと思います。

平間会員

去る、平成18年10月14日(土)~15日(日)2006 - 2007国際ロータリー第2510地区 地区大会が札幌市において開催されました。

私は、地区大会の案内を7月に頂いた時、『案内状に地区大会はたくさんのお会いと友情を深める素晴らしい機会です。奉仕の機会を見つけだすヒントも得られそうです。小さな活動の第一歩を踏み出そうではありませんか。』と書かれており、初めての体験と思ひ大会への参加を決めました。

14日の本会議には2510地区の1,000名を有に超えるロータリアンの他、姉妹地区である韓国第3700地区・ホストクラブである札幌真駒内友好クラブの台北第3480地区からのご来賓が集い、大会第1日目のプログラムが進行して行きましたが、急用があり記念講演「夢をもたらず氷の世界」を聞き逃し大変残念に思っています。

私が記憶に残っているのは、亀岡国際ロータリー会長代理が現況報告の中で、2006 - 2007年度国際ロータリー・テーマ「率先しよう」についてでした。各個人が地域社会への奉仕を積極的に遂行する事が、より良い社会を築いていく礎であるとの話。この話が全てを総括できる素晴らしい一日を過ごす事ができました。

今後、私自身まずは、今年度の留萌ロータリークラブの目標にあります「ロータリーを知り魅力あるクラブ作り」に関わる事ができればと思っております。

吉田会員

2006 - 2007年度R I 2510地区「地区大会」の報告をいたします。

当日は、晴天に恵まれて、多少風がありまし

第16回 10月25日(水) 天候/晴

たけれど、10月としては、暖かな日よりでした。

会場の札幌市民会館に到着しましたが、建物の印象が大変古いという感じです。私が中学生の頃、一度行った記憶がありますので、おそらく築40年以上の建物だと思います。維持管理が行き届いているせいか、それほど古いという印象はありませんでした。

大会プログラムとネームプレートを受け取り、大会第1日目「本会議」ということで、会場に入りました。

会場に入りよく見ると、いつもの厚生年金会館とは違い、ステージ上にはほとんど装飾が無く、質素な感じでした。また、音響・照明も凝ったものも無く、ただの会議という感じでした。

丸山ガバナーの点鐘に始まり、韓国国歌演奏・国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」と続き、参加クラブ紹介があると思っていたのですが、よくプログラムを見ると、大会終了近くに参加クラブの紹介となっていました。

ずいぶん地区大会も変わってきたものだと思いますが、簡素化するのにはある意味いいことだと思うが、登録料だけは簡素化されていませんでした。

また、懇親会は別会場で、国際ロータリー会長代理ご夫妻歓迎晩餐会として行われ、登録料は別でした。

大会そのものは、司会・進行は「佐藤則幸」プロのアナウンサーが担当していて、大変スムーズに進行していました。

午前中のプログラムが終了して、昼食の弁当が配布され、食べようと思ったのですが、飲み物のお茶がなく、用意していないと思い開けてみると、弁当の容器の中に紙パックのウーロン茶が横倒しに入っていて、また弁当の中を見てまたびっくりで、和食あり、中華あり、サンドイッチありと大変不思議な食事でした。

午後からは、北大低温科学研究所教授の講演があり、その後、参加クラブの紹介があり、やっと「ヤー」と挨拶ができました。

そのときの、丸山ガバナーを見ていると、うれしそうに、参加クラブ全員に手を振っていたのが印象的でした。

大会終了後、留萌ナイトで、アサヒビール園に行き、食事をしながら楽しいひとときを過ごしてきました。

国際ロータリークラブ2510地区 地区大会

